製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ～す
https://japan.otakaranews.com

じゃぱんお宝にゅ～す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

SUGINO

ロボット・AIに特化したRI事業部新設

ロボット・AI を活用した産業機械事業を拡充 モノづくり現場の自動化やデータサービスで 人手不足などの課題解決を目指すRI事業部発足

新たに「RI事業部」を設立 産業機械作業の自動化支援

スギノマシン(富山県魚津市、社長：杉野 良暁氏)は、ロボットやAIの活用による製造現場への付加価値の高い商品・サービスの開発や拡充を目的に、専門部署となるRI事業部(Innovation with Robotics and IoT/ICT/AI事業部)を2021年12月1日に設立した。

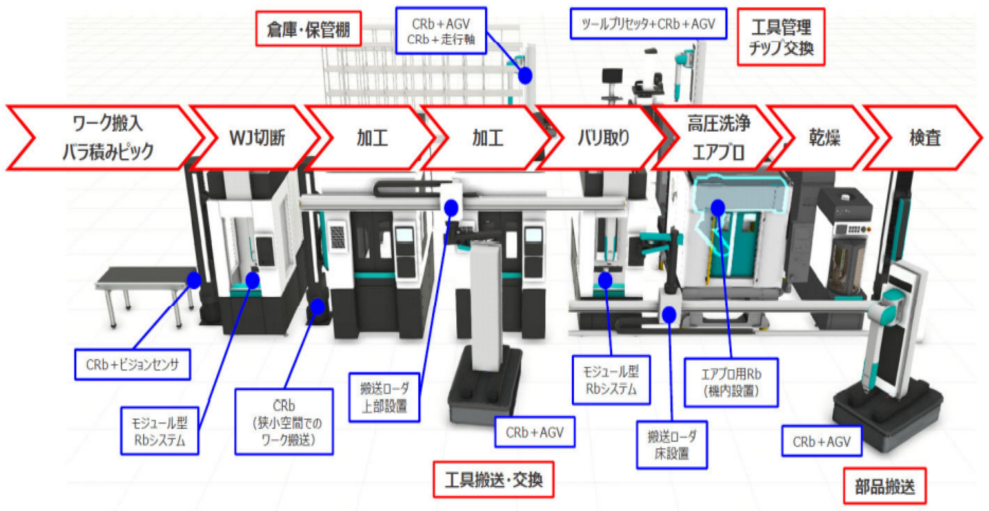
RI事業部新設の目的および背景

IoT・ICTの進歩により、機械製造市場においては、設備と設備、設備と人が繋がり、リアルタイムに情報が共有できるようになってきた中、コロナ禍で働き方や環境が激変し、人の行動範囲の制限と製造現場のロボット化が一気に加速している。

さらに、AIで設備やロボット自身が最適な判断を行い、自律的に動くことが求められるようにもなってきている。スギノマシンはこうした潮流に対応するため、新しい事業部門として「RI事業部(Innovation with Robotics and IoT/ICT/AI事業部)」を12月1日、新たに立ち上げた。

RI事業部の事業部長には、株式会社スギノマシン 執行役(工学博士) の大西 武夫氏が就任。

主な事業として産業用ロボットの開発・製造・販売、産業機械におけるIoT、ICT、AI関連事業を展開していく。



事業部の取り組み 今後目指す目標

スギノマシンは1936年の創業以来、金属切削装置、高圧洗浄機、穴あけ・ねじ立て・鏡面加工工具など、機械製造現場に対して各種商品を開発・製造・販売してきた。さらに昨今では、機械設備間の狭い空間に設置し、ワークの搬送や脱着・加工作業を行うことができる「スイングアーム式コラムロボット(CRb)」も展開している。

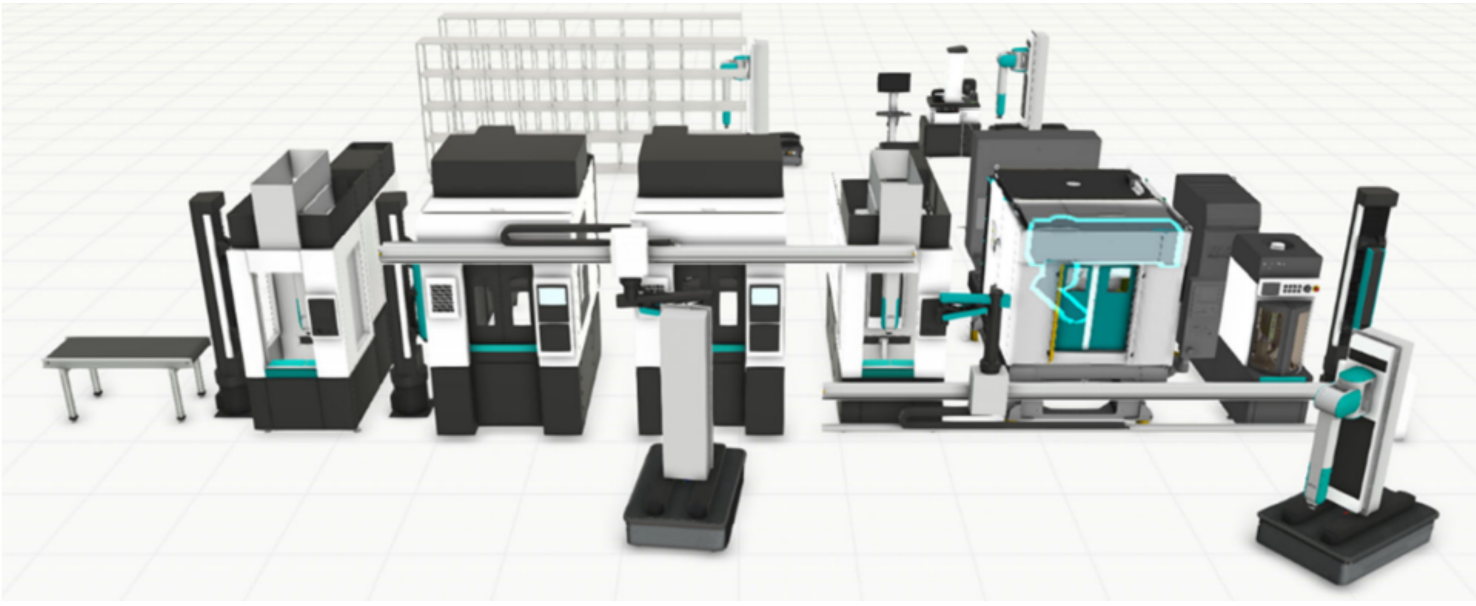
RI事業部では、これらの装置に予兆機能や最適化動作という「知恵」を与え、個客の付加価値を高めていく。

また、上記商品だけでなく、ツールのセッティング・管理装置や自動搬送台車(AGV)、生産管理システムとも連携させ、ロボットを軸としたハードとソフト両面から各工程をよりコンパクトかつ柔軟に繋ぐ一環システムの開発を行っていく。

■スイングアーム式コラムロボット

スギノマシンのスイングアーム式コラムロボットは、垂直または水平な柱に取り付けたアームが開閉・旋回する、独自構造の多関節ロボットで、ロボット本体の背面にアームが飛び出さないため、省スペースでコンパクト、加えて高い剛性と直進性を特長とし、ワーク(加工や洗浄の対象物)の搬送や脱着、加工作業に活用されている。2016年開発以来、防水対応や可搬質量をアップさせるなど市場の要求に応えてラインアップの拡充も図っている。

タイプ	基本	機内設置（垂直）	機内設置（水平）		
型式	CRb015	CRb015V	CRb015H	CRb007H4	CRb020H4
		防水	防水	小型	NEW
軸数	6			4	
可搬質量	15kg			7kg	20kg



■株式会社スギノマシンURL→ https://www.sugino.com/
■スイングアーム式コラムロボット詳細は、同社URL→ https://www.sugino.com/site/robot/